

「安く買う工夫」や「メリハリ家計」が定着 消費税8%増税前後の「購買行動」とその「おもい」

生活者研究センター
主任研究員 秋田 千恵

2014年4月1日にスタートした8%消費税。増税は生活者の「購買行動」にどのような影響を与えたのでしょうか。20～60代既婚女性を対象に、増税前後の「購買行動」とその「おもい」を調査しました。すると「暮らしの満足度」や「消費意欲」には大きな変化が見られないことがわかりました。本レポートでは、調査から見えてきた日頃の「買い物スタイル」や10%増税に向けての意識について報告します。

トピックス

- 8%増税後の「暮らしの満足度」は66%で、増税前と比べて変化なし
- 増税前に前倒しで何かを購入した人は68%。「日用品・化粧品」の購入者は55%
- 増税後の購買行動は変化なし。これまでの「買い物スタイル」を継続
- 10%増税に向けて、家計の「見直し意欲」は大幅にアップ

【調査概要】

「2014年消費税増税前後の生活者 ～購買実態とそのおもい～」

調査期間:2012年5月、2013年1月・5月

2014年1月・3月・5月

調査方法:インターネット調査

調査対象:首都圏の20～60代既婚女性

回答者数:2012年5月は556人

2013年1月・5月、

2014年1月・3月・5月は各500人

調査期間:2013年7月、10月、12月

2014年3～4月(合計68日間)

調査方法:レシート調査

調査対象:首都圏の30～60代既婚女性

対象者数:22人

調査期間:2014年3月、4月

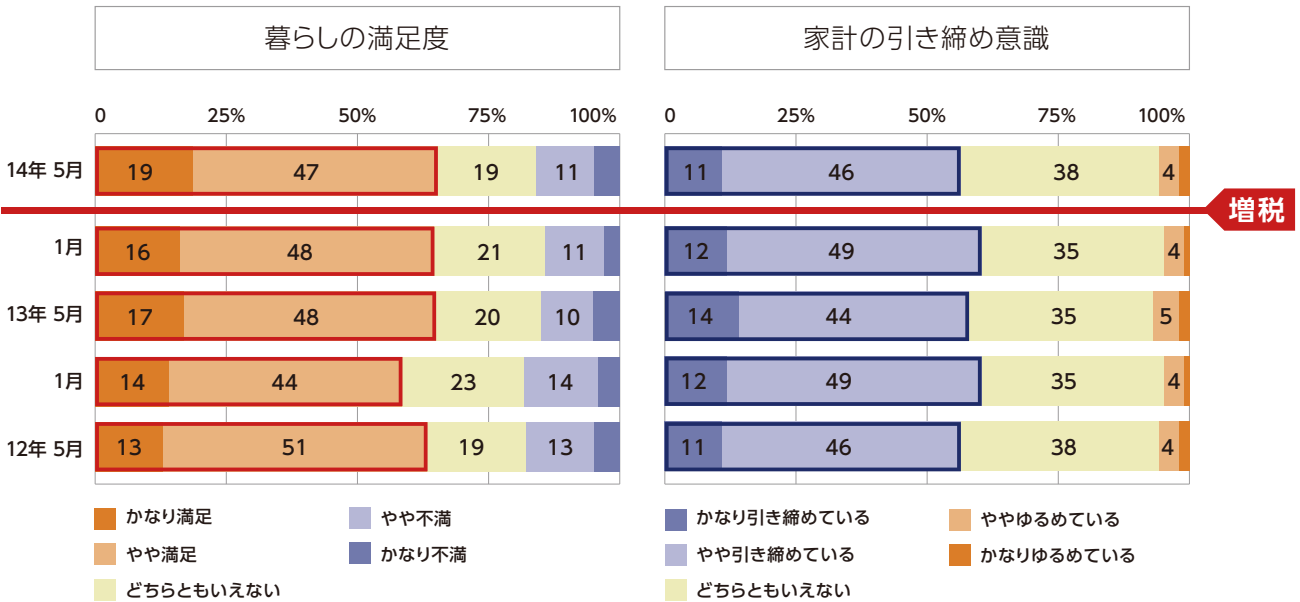
調査方法:家庭訪問インタビュー調査

調査対象:首都圏の30～60代既婚女性

対象者数:5人

8%増税後の「暮らしの満足度」は66%で、増税前と比べて変化なし

「暮らしの満足度」は、増税後も落ち込むことなく、2014年5月の調査でも「満足」と答えた人は66%と高いことがわかりました。「家計の引き締め意識」も、「引き締めている」が6割弱で前年5月とほぼ同じでした。過去2年間の比較でも、「満足度」「引き締め意識」ともに増税後も大きな変化が見られないことがわかりました(図1)。

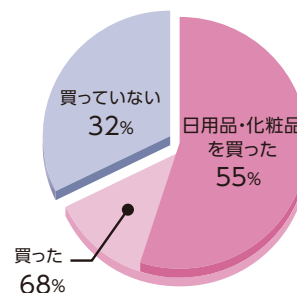


首都圏20~60代既婚女性500人*(花王調べ) *2012年5月のみ556人

(図1) 暮らしの満足度/家計の引き締め意識

増税前に前倒しで何かを購入した人は68%。 「日用品・化粧品」の購入者は55%

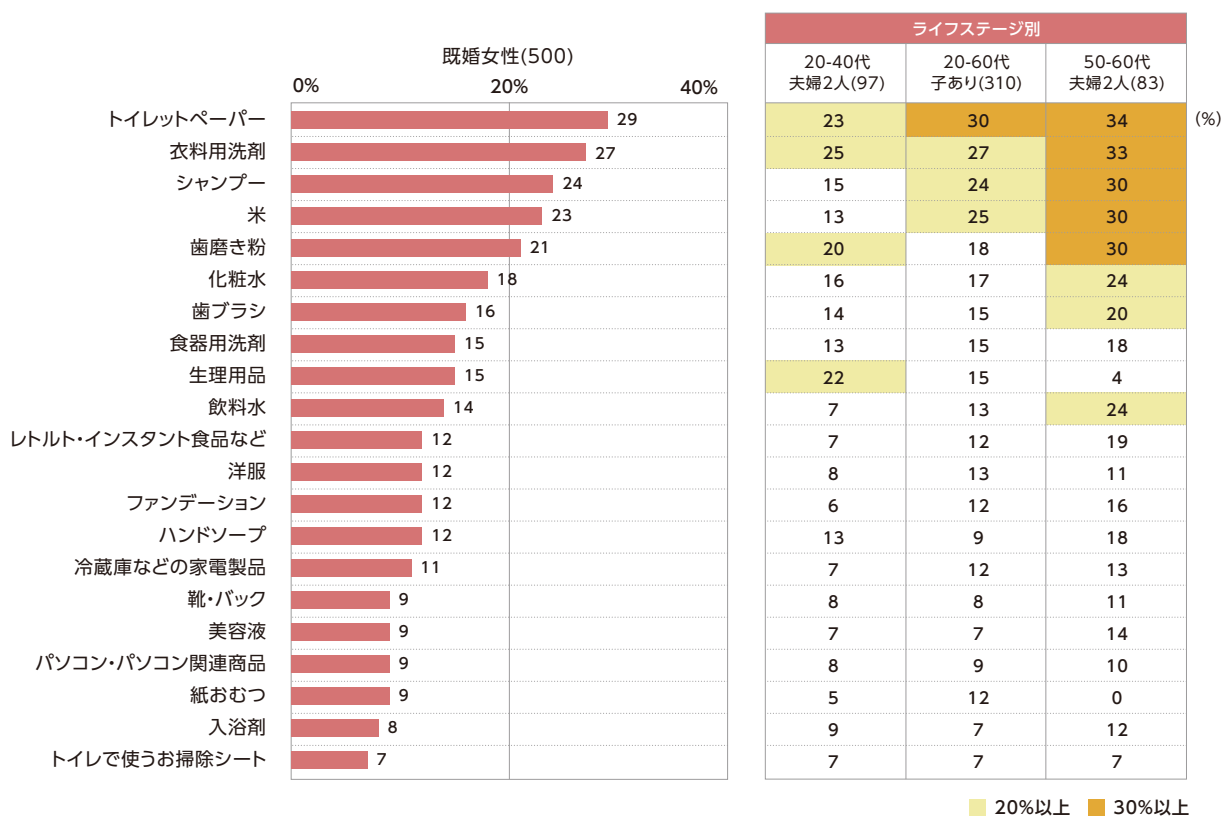
増税前の半年間で、68%の人が増税対策として「今のうちに」と前倒しで何らかの商品を購入していました(図2)。「日用品・化粧品」を購入した人は55%で、購入商品のトップ3は「トイレtpーパー」(29%)、「衣料用洗剤」(27%)、「シャンプー」(24%)でした。また、「50～60代夫婦2人世帯」での購入率が全般的にやや高めであることがわかりました(図3)。購入した人の商品の購入時期を見ると、約半数が増税直前の3月下旬に「駆け込み購入」していました(図4)。



2014年3月30日

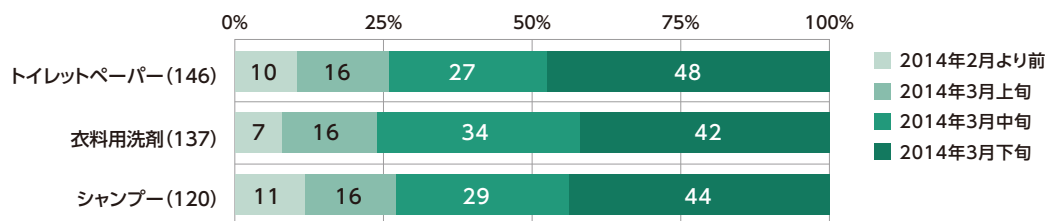
首都圏20～60代既婚女性500人(花王調べ)

(図2) 増税前の半年の間に前倒しで購入した人



2014年3月30日 首都圏20～60代既婚女性500人(花王調べ)

(図3) 増税前の半年の間に前倒しで購入したもの



2014年3月30日 首都圏20～60代既婚女性500人(花王調べ)

(図4) 商品を購入した時期

増税後の購買行動は変化なし。 これまでの「買い物スタイル」を継続

並行して実施したレシート調査から、さらに詳しく購入実態を見てみました。その結果、日頃の「買い物スタイル」が増税前後の購買行動にも反映されていることがわかりました。

CASE 1



増税前に「買った」派 「おトク感」を楽しみながらお買い物

Aさん 39歳/パート 家族構成:夫・長女(中1)・次女(小6)・長男(小1) 住居:賃貸集合住宅 年収:500万円

普段

- 「愛用品を少しでも安く買う」のが大好き。だから、ストックがあっても、安いとつい買っちゃう。
- セールや割引クーポン、ネットでのおトク情報をしっかり入手し、活用している。



いつも使っている商品、
安いとストックがあっても
つい買っちゃう

増税直前

- お店に行ったら、レジに行列ができていて、棚もスカスカだった。別のお店に行ったら商品があったので、焦燥感から「駆け込み購入」。
- 生活必需品以外のものは増税後だと罪悪感を感じてしまいそうで「今のうちに」とネイルを購入。



増税直前に、
つい欲しくなったので、
今のうちに…と購入

増税後

- 直後は増税を実感。警戒感から、余計なものは「買い控え」。
- 店頭で「増税前の底値に近い値段」の洗剤を見つけ、つい2つ購入。
- また「おトク」なクーポンがもらえたので、ラッキー。

CASE 2



増税前に「買わなかった」派 節約&プチ贅沢で「メリハリ家計」のお買い物

Bさん 40歳 / パート 家族構成: 夫・長男(中2)・長女(小6) 住居: 持ち家戸建て 年収: 600万円

普段

- 「すっきりシンプルに暮らしたい」。だから、ものがあふれないように、余分なストックは持たない。
- 家計簿歴は10年!
- 日々の買い物はセール品で節約。でも家族旅行や欲しいものはケチらない。



ストックは
1個あれば
十分



少しずつ貯めたお金で
ワニ革財布を購入♡

増税直前

- 連日の消費税の報道に、さすがに今回は「買いだめ」しようかと迷った。
- ファンデーションを買おうと思ったけど、夏用の新製品の方が良いと思って、買うのをとどまった。

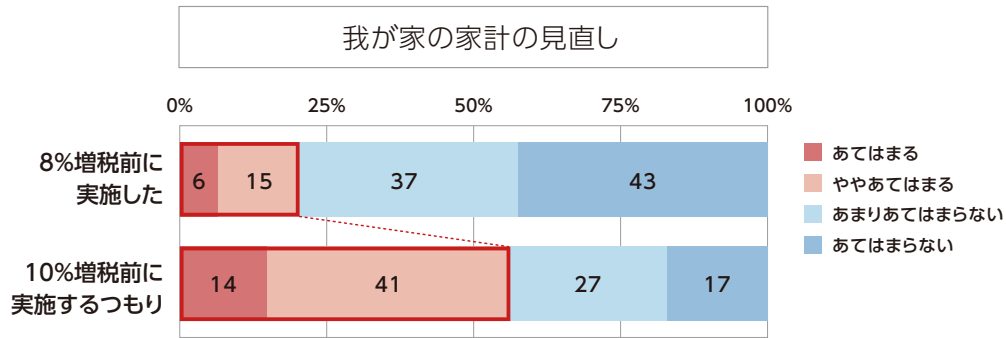
増税後

- 直後は、なんとなく「損した気分」になった。
- スマホのクーポン利用やお店のポイント2倍デーを利用すればいいかも。
- 夏休みの旅行など家族のお楽しみイベントもこれまで通り行くつもり。

どちらのケースも「安いお店探し」「ポイント活用」「ネットやスマホの利用」などで、日頃から「安く買う手段」を工夫し、それが定着している様子がうかがえました。また、いつも使っている日用品などはできるだけ安く購入し、自分にとって価値のあるものにはお金をかける「メリハリ家計」を実践して、お金と心の「ゆとり」を生みだし、暮らしを楽しんでいる様子も見えてきました。

10%増税に向けて、 家計の「見直し意欲」は大幅にアップ

「家計の見直し」について、今回の8%増税前に「実施した」人は約20%にとどまりましたが、次回の10%増税に向けては、55%の人が「実施するつもり」と回答し、「見直し意欲」を見せています(図5)。

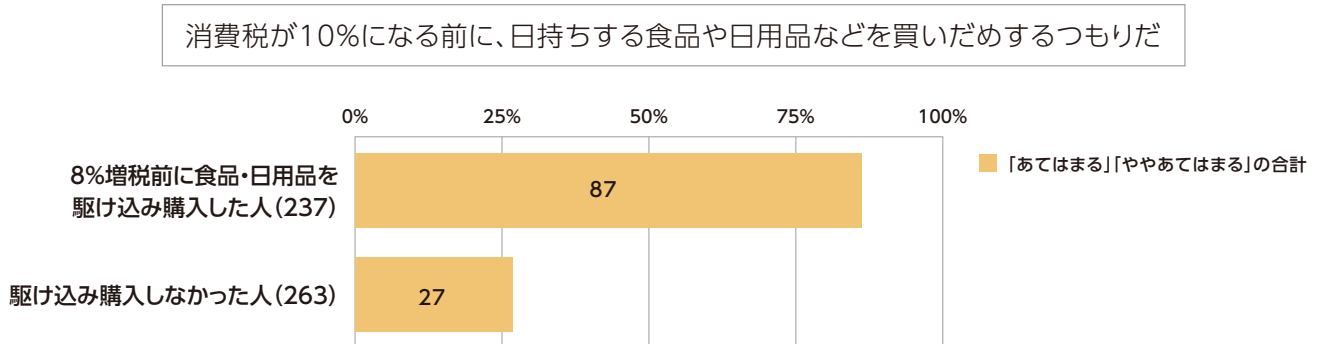


2014年5月 首都圏20~60代既婚女性500人(花王調べ)

(図5) 増税に向けての意識

また、次回の増税前の「買いだめ」については、今回「購入した」人の87%、「しなかった」人でも27%が実施を検討していることがわかりました(図6)。さらに自由回答から理由をきくと、増税前に「欲しいものが欠品していたから」、増税後に「物の値上がりを実感したため」という回答が見られました。また、「5%のときと比べると消費税が2倍になる」という回答もあり、10%のほうが家計に対する増税のインパクトが大きいと考えている人もいました。

今回の8%増税での経験や反省を生かし、次回の増税に向けて計画的に準備しようという意識が高いことがわかりました。



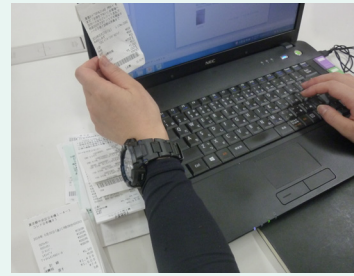
2014年5月 首都圏20~60代既婚女性500人(花王調べ)

(図6) 10%増税に向けての意識

【「レシート調査」から見える、生活者のくらし】

生活者研究センターでは、生活者の購買行動とその思いを探るために、「レシート調査」を行いました。

レシートは生活者の購買行動のリアルな記録です。本レポートでも、合計68日間の実施期間で、総数2,933枚のレシートの分析を行いました。単に買った商品や金額を調査するだけでなく、購入動機や買い物したときの気持ち、買わなかったけれど気になったものなども合わせて記入していただきました。



本レポートのレシート調査の概要

〔対象者〕 首都圏の30～60代の既婚女性22名

〔方法〕 インターネット経由で次のことを毎日記入してデータを送信
①1日の過ごし方や感じたことについての日記 ②レシート画像とその商品の購入動機、買い物したときの気持ち ③買わなかったが気になったものがあれば記入

〔実施期間〕 2013年7月10日～23日、10月10日～23日、12月13日～26日、
2014年3月20日～4月14日 合計68日間

〔分析対象〕 レシート総数(のべ買い物回数):2,933枚

●お問い合わせ・ご意見は **花王株式会社 生活者研究センター**

〒131-8501 東京都墨田区文花 2-1-3 TEL. 03-5630-9963(月～金 9:00～17:00) FAX.03-5630-9584

くらしの研究 <http://www.kao.co.jp/life/>

※掲載の記事・写真の無断掲載・複写を禁じます。